

四番町図書館コメントコンテスト

応募総数 310 点から司書が選んだ

コメント 10点!

あなたの投票で
大賞が決まります!

2 『OMOIYARI のえほん 世界を幸せにする魔法』

藤田恵美/作 松本えつを/絵

ミライカナイボックス



思いやりって何だろう?ある日、男の子は思いやりの女神さまに会って遠くの星に連れていってもらいました。男の子はそこでたくさん大切なものを見せてもらいました。それは一体どんなものだったのでしょうか? これは、歌手の藤田恵美さんが「いじめをなくしたいではなくて、思いやりを増やしたい」という発想転換がきっかけとなってつくられた歌の絵本です。とても優しい気持ちになり感動する本なのでぜひ読んでみて下さい。 【にこちゃんさん】

4 『自閉症の僕が 跳びはねる理由』

東田直樹/作

KADOKAWA (角川文庫)



新しい知識を得るには本を読むのが丁度良い。「自閉症」この言葉は誰もが一度は聞いたことがあるだろう。この本にはその特徴について大変読みやすく列挙されている。読むにつれ、自分自身にも同じところがあることに気づく。もしかしたら、「自閉症」は特別なものではなく、誰にでも性格の一部には似たような部分があるのかもしれない。自閉症についての知識のみならず、自分自身の理解にもつながるであろう、この夏お薦めの一冊。 【Y・Kさん】

1 『アルケミスト 夢を旅した少年』

パウロ・ユエーリョ/著

KADOKAWA (角川文庫)



この本は、人生の教訓が満載の本です。主人公の少年は、エジプトの旅を通じて様々な人との出会いの中でたくさんの経験をします。今の時代私も含め、決断力であったり、思い切り、深い考えやひらめきが不足している気がします。今に迷った時、自分にあてはめて少年と共に本で旅するのはどうでしょうか。ワクワクしますよ。シンプルで読みやすい内容で、読むたびに新しい発見、そして勇気をくれる作品です。 【りんごさん】

3 『君の臓腑をたべたい』

住野よる/著

双葉社



この本のタイトルにインパクトがあり、敬遠しがちだがそんな人にも是非オススメしたい一冊だ。この本は、人に興味がなく関わろうとしてこなかった僕と人との関わりを大切にするキラキラ真っすぐな桜良という臓腑に病気のある女の子が「共病文庫」をきっかけに出会い、「生」や「死」、「愛情」などを学び僕が成長していく物語だ。結末は思わず「何で!」と叫びたくなるが、それ以上に心が優しくあたたかくなる作品である。 【ひよりさん】

5 『少女は卒業しない』

朝井リョウ/著

集英社 (集英社文庫)



最後の卒業式の日をそれぞれ思い思いに過ごす生徒たち。その全員に一致していることは“別れ”を決断すること。なじみ深い校舎との別れ、大切な人との別れ。東棟に施された壁画のように、生徒たちはどこか少し重なっているようだけど、やはり各々の方向を見つめている。高校生の今だからこそ読みたい本。読み終わった後にもしばらく残る、この世界に入ってしまったみたいような、もう入っているような感覚を私は忘れられないだろう。 【ツバサさん】

6 『世界から猫が消えたなら』

川村元気／著

小学館(小学館文庫)



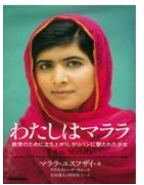
私は、主人公の設定があまり書かれていないので自分に置き換えられ、向き合える作品だと感じた。主人公の男は、1日長く生きるために大切な時計や映画、電話を消した。私だったらどう決断し、何を消すだろうかと考えさせられた。私は、〇〇(まるまる)が無ければ良いのに、とってしまうことがある。しかし、大切なものは失ってから気づくものだ気づかされた。だから、1日1日を大切に過ごし、前向きに捉えていこうと思う。 【まるさん】

7 『わたしはマララ』

教育のために立ち上がり、

タリバンに撃たれた少女』

マララ・ユスフザイ／著 学研プラス



みなさんには、命より大事なものはありますか？この本の作者マララ・ユスフザイさんは自分の命の大切さよりも女子教育の大切さを主張しています。今でも想像できないようなことが世界では起こっています。男女差別。児童労働。若すぎる結婚・妊娠。この世界を平和にするためだけでもこの本を読んで問題について一緒に考えましょう！

【みたらし団子さん】

8 『人を動かす』

D・カーネギー／著

創元社



私は人間関係が上手くいかず悩んでいた時にこの本に出会った。書名から難しい内容と思うかもしれないが、どれも当たり前の内容ばかりだ。しかし、それが実際にできているかは自分自身に聞いてほしい。ほめられたい、相手より優位に立ちたいといった人間の欲望を利用した人間関係の築き方が述べられている。これは、仕事場や家庭、友達などどの場合でも当てはまる。人間関係で悩んでいる人には、ぜひこの本を読んでもらいたい。 【Blueさん】

9 『本日は、お日柄もよく』

原田マハ／著

徳間書店(徳間文庫)



「困難に向かい合ったとき、もうだめだ、と思ったとき、想像してみるといい。三時間後の君、涙がとまっている。二十四時間後の君、涙は乾いている。二日後の君、顔を上げています。三日後の君、歩き出している。」私が思わずうるってきた、すてきな言葉です。この本で初めて「スピーチライター」という職業を知り、初めての「言葉の力に」気づきました。「言葉ってすごい！！」思わず言っちゃう、ちよっぴり泣けて、今の自分へエールをくれるすてきなお話。 【佐久マコトさん】

10 『西の魔女が死んだ』

梨木香歩／著

新潮社(新潮文庫)



この本を読んで二つのことが感じられた。当たり前なことを続けていくことだ。コツコツ続け努力したことは必ず成果として現れることが分かる。二つ目は死に対する考え方がこの本を読んで変わった。今までマイナスの面でしか考えていなかったが、それがきっかけでプラスの面でも考えられるようになった。『西の魔女が死んだ』は何回読んでも、感じることに、考えること、学ぶことがその度に変化していく。とても勉強になる良い本だ。 【みやさん】

投票方法

- 展示・投票期間 10/27(金)～11/9(木)
- コメントを読んで、いちばん「読みたい!!」と思った本に投票をお願い致します。
- 備え付けの投票用紙にご記入のうえ、専用の投票箱に投票してください。
(投票箱設置館：四番町図書館・千代田図書館・日比谷図書館文化館・昌平まちかど図書館・神田まちかど図書館)
- 得票順に大賞1名・準大賞2名を決定します。
- 発表は11月中旬です。
(千代田区立図書館に掲示します)